

財政状況等一覧表（平成21年度決算）

(単位:百万円)

団体名 兵庫県 相生市

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
5,089	2,794	432	8,316

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	13,344	12,907	436	386	831	14,380	
看護専門学校特別会計	129	129	0	0	79		
一般会計等	13,394	12,958	436	386		14,380	

「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
国民健康保険特別会計	3,733	3,617	116	116	206			
老人保健医療特別会計	8	7	1	1				
介護保険特別会計	2,081	2,058	23	23	302			
後期高齢者医療保険特別会計	382	374	8	8	376			
公共下水道事業特別会計	3,405	3,406	1		1,091	19,559		17,114
農業集落排水事業特別会計	392	392	0	0	306	4,448		4,074
病院事業会計	721	721	0	54	119	20		14 法適用企業
公営企業会計等計				202		24,027		21,202

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づきのものであり、資金不足額がある場合には負数(～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
安室ダム水道水供給企業団				1		1,225	377	法適用企業
西播磨水道企業団	1,009	1,026	17	1,291		1,539		法適用企業
赤相農業共済組合	47	43	3	78				法適用企業
兵庫県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	4,591	4,224	367	367	37			
兵庫県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	520,202	503,885	16,317	16,317	7,036			
一部事務組合等計				18,054		2,764	377	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等繰入見込額	備考
相生市土地開発公社	2	471		5			881		
あいおいアクアポリス	3	92		435					
地方公社・第三セクター等計				440			881		

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	1,455	1,544	89
減債基金	246	247	1
その他充当可能基金	2,029	1,973	56
充当可能基金計	3,730	3,764	34

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	3.81	4.64	0.83	13.67	20.00	国民健康保険特別会計			
連結実質赤字比率	7.56	7.06	0.50	18.67	40.00	老人保健医療特別会計			
実質公債費比率	16.7	15.9	0.8	25.0	35.0	介護保険特別会計			
将来負担比率	191.5	179.6	11.9	350.0		後期高齢者医療保険特別会計			
財政力指数	0.60	0.59	0.0			公共下水道事業特別会計			
経常収支比率	96.4	94.9	1.5			農業集落排水事業特別会計			
						病院事業会計			

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(～)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成21年度決算における基準である。